

更級日記 門出

① あづま路の道の果てよりも、なほ奥つ方に生ひ出でたる人、
東海道 にある常陸国 もつと の 育つ た の私は

いかばかりかはあやしかりけむを、
どんなに か 田舎つばかり ただろう のに

② いかにか 思ひ始めけることにか、世の中に物語といふものの
どのように 思い始め た なのであろう

あんなるを、いかで 見ばやと思ひつつ、
ある そうだ が、それ たい 思い ながら

③ つれづれなる 昼間、宵居 などに、姉、継母などやうの
手持ち無沙汰な や 夜遅くまで起きているとき というと な

人々の、その物語、かの物語、光源氏のあるやうなど、ところどころ
が あ あり さま

語るを聞くに、
の と

④ いとど ゆかしさ まされど、わが思ふ ままに、そらに
ますます 見たさ が 募る けれど私 願う とおり (草子も持たないで) 暗記して 形動

いかでか おぼえ語らむ。
どうして 覚え語ってくれるだろうか、いや、語つてはくれない。

⑤ いみじく 心もとなき ままに、等身に薬師仏を造りて、手洗ひ
とても じれつたいの にまかせて 等身大 造つ

などして、人まに みそかに 入りつつ、
人のいない間 こつそり 仏間に 入つて は

⑥「京に早くとく上らせ上げなさつ給ひて、物語の多く候ふがなるございます、と聞いている、それを

丁

伝聞・体

ある限り見せ給へ。」と、身を捨てて額をつき、祈り申すお、下さい、床に、伏し、申し上げる、うち、ほどこに、

⑦十三になる年、上らむとて、九月三日、門出して、いまたちといふ所上京し、よう、いうことになつ、目的、

移動した
に移る。

⑧年ごろ遊び慣れつる所を、あらはに長年、た、外からまる見えになるように、乱雑に取り外し、こほち散らして、

立ち騒ぎで、大騒ぎし

⑨日の入りぎは、いとすごく沈む間際、で、ひどくもの寂しい感じで、一面に霧の立ちこめ、霧りわたり、たるに、とき、格助詞

車に乗るとて、うち見やりたれば、乗ろう、し、ふと、目をやつ、た、ところ、偶発条件

⑩人まには参りつつ、額をつきし薬師仏の立ち給へるを、人の見ていない間、何度も、お参りし、て、つい、た、てお祈りし、立つて、いらつしや、のが見え、それ

見捨て奉る、悲しくて、人知れずうち泣かれぬ。お、申し上げる、ことが、自然と、はらはらと、涙が流れてしまった、自発

⑪ 門出したる所は、めぐりなどもなくて、かりそめの茅屋の、
(て移つ) 周囲の垣根 間に合わせ であつて 同格？

部などもなし。
ない

⑫ 簾かけ、幕など引き回している。
を
⑬ 南ははるかに野の方見やらる。
はるか遠くに 自然と見え 自発

⑭ 東、西は海近くて、いとおもしろし。
が とても 明るく美しい

⑮ 夕霧立ちわたりて、いみじうをかしければ、朝寝などもせず、
が 一面に立ちこめ たいそう 趣が深い ので しない

方々見つつ、ここを立ちなむことも、あはれに悲しきに、
あちこち を ては 出発してしまう ような しみじみと 悲しい が 完了 婉曲

⑯ 同じ月の十五日、雨かきくらし
に た 辺り一面を暗くして 時 国 出
降るに、境を出でて、

下総の国のいかたといふ所に泊まりぬ。
いう 泊まつ た

⑰ 庵なども浮きぬばかりに雨降りなどすれば、
仮小屋 浮い てしまう が 降つ たり する ので

恐ろしくて寝も寝られず。
寝ることができない 「寝も寝られず」

野原の中^で ^{のように高くなつ}
⑱ 野中^に 丘^{だち} ^{ている}
たる所^に、ただ木^ぞ ^{三本} 立つ^て 立^て てる^る。

⑲ その日は雨にぬれたる物^{ども}も干^し、国^に ^{上総の} 立ち遅^れ ^た たる人々^待つ
^{いうこと}
とて、そこ^に ^で 日^を暮^らし^つ。

⑳ 十七日^のつとめて、立^つ。
^{早朝} ^{出発する}

昔、下総^の国^に、まの長^{といふ}人^住み ^が けり^た。

ひき布^を千^むら、万^むら織^{らせ}、さらさせ^{ける} ^{たという} 人^の ^{船頭がいうこと}
^{まのの長が} ^{千巻} ^{万巻} ^{反物} ^で 家の跡^{とて}、

深^い 深^い 川^を 舟^に 渡^る。

昔の門^の柱^のまだ残^り ^が 残^つ ^{いうこと} たる^{とて}、大^{きな} 柱[、] 川^{の中}に四^つ 立^て り^{。四本} ^が ^立 ^つ ^て ^い ^る。

人々^歌よむを聞^{きて}、心^の内^に、
^が ^を ^聞 ^い ^私 ^も ^(次の歌を詠んだ)

朽^ち果^て ^し ^な ^い ^中 ^の ^が ^残 ^つ ^て ^い ^な ^け ^れ ^ば
朽^ちもせぬ^{この}川^柱 残^らず ^は ^{係(順接確定)}

昔^の跡^をい^かで ^{長者の屋敷} ^{どうやって} ^知 ^ら ^ま ^し ^だ ^ら ^う ^か、⁽ ^い ^や、^知 ^る ^は ^ず ^も ^な ^い ⁾。
^{反実仮想【体】}